

“物理探査”投稿規定

1998年(平成10年)7月3日改訂
2006年(平成18年)7月5日一部改訂
2007年(平成19年)8月1日一部改訂

1. 会誌“物理探査”は次の内容により構成される。
 - a. 論説 物理探査技術および関連諸学問分野に関して、大局的視野から技術的あるいはその他の動向につき論じ、将来の方針を示唆しようとするもの。
 - b. 論文 同上に関する各種の研究、調査、試験結果の報告で創意工夫や特色があるもの。
 - c. 短報 論文と同じ性格をもつものであるが、限られたテーマに関する速報的な内容のもの。
 - d. 技術報告 物理探査技術および関連分野についての調査事例、技術経験あるいは提案など会員の参考になると思われるもの。
 - e. 講座 同上の各専門分野に関する基礎理論、技術の適用対象などにつき、テーマを定めて系統的に説明するもの。
 - f. 解説 同上に関する特定技術、トピックスなどについて説明するもの。
 - g. 資料 a-f に属さないもので会員の活動に参考になると思われるもの。
 - h. 論評 a-g および h に対する意見、討論および提案など。
 - i. 通信 研究室紹介、ソフトウェア紹介、海外出張報告など、会員間のコミュニケーション促進に役立つもの。
 - j. 講演要旨、文献紹介、書評、ニュース、学会関係記事、その他会誌編集委員会(以下委員会と記す)が適当と認めた事項。
2. 投稿原稿は未発表のものに限る。但し、学会より依頼する時はこの限りではない。
3. 投稿者は会員とし、2名以上連名の場合は、少なくとも1名が会員であればよい。ただし、委員会が必要と認めた場合はこの限りでない。
4. 原稿は図、表ともに刷上がり頁を次のとおりとする。

論説・論文・技術報告・講座・解説	12頁以内
資料	8頁以内
短報	4頁以内
論評・通信	2頁以内

ただし、委員会が必要と認めた場合はこの限りでない。その場合、超過分の印刷に際しては実費を徴収することがある。
5. 原稿は和文または英文とする。a-h には和文および英文の題目を付す。
6. 論文の要旨は和文とし、英文要旨も付す。英文論文では要旨は英文として、和文要旨も付す。
7. 原稿には1.に掲げる種別を明記すること。ただし、委員会において種別を変更することがある。
8. 原稿の採否、掲載巻号および印刷上の体裁については委員会が決定する。原稿は委員会または委員会の依頼する者が査読する。なお原稿が投稿規定に合致しない場合には再提出を求めることがあり、また査読結果に基づき原稿の修正を求めることがある。
9. 原稿掲載後、a-h については電子ファイルを著者に贈呈する。別刷については著者の負担とする。
10. 投稿者は別に定める投稿細則にしたがって原稿に不備のないように留意すること。
11. 著作権は、別途定める著作権規定に従い、本学会に帰属する。ただし、著者が非営利の目的で複製を行うことは差し支えない。